

日時

2011年11月28日(月)

18:30~21:00(開場18:00)

場所

立教大学 池袋キャンパス

7号館 1階 7102教室

西池袋は面白い。

池袋駅を基点に商業施設や官公署が集まり、大きな広場もある。飲食と歓楽のロマンス通り界隈。エキゾチックなアジアタウン。古くからの地元住民の生活空間。池袋モンパルナスの残照。江戸川乱歩が、手塚治虫が歩いた路傍の夢――。

異なる文化環境がごく間近に併存する都市風景には、そこはかとなく“ひと、の匂いが漂っている。

その真ん中あたりでおよそ一世紀、知の伝統を築いてきた立教大学と、芸術文化の拠点として絶賛変身中の東京芸術劇場が手をつなぐのだから、たのしいことが起こらないわけがない。

そうしたら、ご近所さんも○○○さんも一緒に同じテーブルを囲もう。となりの人の声を聴こう。もっともっと、この町をおもしろがろう。

新しい“まち、を、みんなでつくるために。

東京芸術劇場

立教大学

西池袋 刺激

パネリスト

福地茂雄 (東京芸術劇場館長)

1934年、福岡県出身。企業メセナ活動の草分け的存在であるアサヒグループホールディングス株式会社相談役。芸術文化に造詣が深く、現在は公益社団法人企業メセナ協議会理事長、新国立劇場運営財団理事長も務めている。

高萩 宏 (東京芸術劇場副館長)

1953年、東京都出身。夢の遊眠社、バナソニック・グローブ座支配人、世田谷パブリックシアター製作部長などを経て、2008年から西池袋で野田秀樹芸術監督と20年ぶりにタッグを組み、多彩な劇場改革を行なっている。

吉岡知哉 (立教大学総長)

1953年、東京都出身。専門はヨーロッパ近代、主に18世紀フランスの政治思想。立教大学法学部教授を経て、2010年に第19代立教大学総長就任。大学時代には、夢の遊眠社の初期作品など、さまざまな観劇体験をもつ。

阿部 治 (立教大学ESD研究センター長、社会学部・異文化コミュニケーション研究科教授)

1955年、新潟県出身。ESDのパイオニアとして、持続可能な社会の構築に向けた活動を国内外で展開。土地の魅力を活かした地域づくりの実践に取組み、西池袋の緑化活動や飲酒活動などに積極的に携わっている。日本環境教育学会会長。

主催 立教大学
企画・運営 立教大学ESD研究センター
後援 豊島区

参加申込方法

ESD研究センターHPの申込フォームからご登録ください。メールかFAXでお申込みの場合は、件名に「芸術×立教シンポジウム」と記載し、氏名、所属、メールアドレス、電話番号を明記の上、下記の問合せ先にご連絡ください。

※参加費無料。

による
持続可能な
地域づくり

る ぞ

連携協定
締結記念
シンポジウム

